

拝啓

春暖相催し候処ますます御清栄賀し奉り候、其後御無沙汰相重ね居り候処、毎々御心にかけれ美しき封筒沢山に御恵贈たまはりまことに有難く謝し奉り候、過日牧野氏御立寄り下され承り候へば、大瀧紙も各種愈々御完成にて近く御発売の由大慶此事

に御座候、多年の御苦心の効空しからず美術界に多大の御貢献相成り候事欣賀に堪えず候、

小生も拙筆ころみ候もの御覧に入れ度く存じながら延引致し居り候、此程も旧臘よりの微恙平状致さず引籠居り候仕末に御座候、甚だ乱筆ながら取敢えず右御

礼のみ申上げ候、頓首、四月三日 安田鞞彦

岩野平三郎様

拝啓

いぶせき梅雨うち  
続き申し候、

さて先日は紙見本各  
種早速御送附

たまはり有難く  
存じ上げ候　ますます

御精練にてまこと  
に美事のものに

相成り欣はしき事  
に御座候、　いまだ全

部にわたりころみ  
申さず候へども、各とり

どりに特色ある事  
と存じ候、

尚此度甚だ御手数  
恐縮には候へども

大幅のもの（四尺幅  
にてよろしく）至急

入用にこれ有、只今御  
出来合せのものこれ有

候はば十枚程御  
送附下され度く候、

もし只今これ無候はば  
御面倒ながら折返し

御返事下され度く候、  
尚又先日の分と共に

御価格御一報たま  
はり度く候、

先はいそぎ願用  
のみ申上げ候、

頓首

七月十五日

安田鞞彦

岩野平三郎様

拝啓

其後は御疎遠に  
うち過ぎ居り候、  
冱寒の折柄ますます御清栄  
賀し候、

さて此度別紙の如き  
紙御作製下され度く願  
い上げ候、  
枚数は一巻にて  
よろしく候へども御都合  
にて二巻にても宜

しく何卒然るべく願  
い上げ候、  
代金の儀何卒  
御仰せ附け下され度く直に御  
送り申上げ候、

次に先年何か拙作  
御送り申上ぐべく御約  
束致ながら遷延

今日に及び居り候事  
心苦しく存じ居り候、  
此度の紙にて何か執  
筆仕るべく考へ居り候  
間御諒承下され度く候、  
先は取敢えず右願  
い用まで申上げ候、  
頓首、

二月十四日

安田鞞彦

岩野平三郎様

拝啓

御繁忙中御面倒なる御願い申上げ候処早

速御調製下され候由、又御返事の趣正

に承知仕り候、

純楮精品大徳紙至極満足に御座候、

前便申上げ候通りの普通の大きにて、但ウラ打は無い方

よろしく御含み下され度く候、

御成御記念及喜寿御記念両画帖用

紙御送り下され度く候、先は右御返事まで、

草々頓首

二月十八日 安田鞞彦

岩野平三郎様